

科目名	音楽4(演習)		科目ナンバー	CC-EP2256-CP		
担当者 (実務経験名)	教授 桑原 哲章(演奏家) 講師 大年 真理子(演奏家)					
履修期	2年 後期			卒業単位	必修 1単位	
免許・資格	保育士選択・こども音楽療育士必修					
授業概要	保育現場で必要とされる「弾き歌い」は、子どもたちの成長を支える大切な手段の一つです。本科目では、4月から始まる現場での保育に向けて、曲のレパートリーを増やし演奏力を高めることを目指します。					
到達目標	知識・理解	音楽の演奏に必要な基礎的な楽典を理解し、楽譜からの情報を読み取ることができる。				
	思考・判断	子どもの歌の調性判断ができ、スケールの調性と子どもの歌の調性との関係性を理解できる。自身の課題を把握し、練習を進めることができる。				
	興味・意欲・態度	レッスンの課題に向き合い、見通しをもって日々練習を重ねることができる。毎時間のレッスンにおける教員からのアドバイスや自分の気づきを、的確に振り返り、次につなげることができる。				
	技能・表現	主要和音での【コード奏法】による弾き歌いができる。自身の現状を把握した上で練習を継続し、音楽的技能(ピアノや歌唱)の力を高めていくことができる。				
授業計画	授業内容			事前事後学習内容		時間 (時間/週)
	1	オリエンテーション・夏休みの課題曲演奏		夏休みの課題曲を練習する		1
	2	弾き歌いレッスン①「夕焼小焼」		「スケール」「夕焼小焼」を練習する		1
	3	弾き歌いレッスン②「とけいのうた」		「スケール」「とけいのうた」を練習する		1
	4	弾き歌いレッスン③「まつぼっくり」		「スケール」「まつぼっくり」を練習する		1
	5	弾き歌いレッスン④「思い出のアルバム」		「スケール」「思い出のアルバム」を練習する		1
	6	弾き歌いレッスン⑤「うれしい雛まつり」		「スケール」「うれしい雛まつり」を練習する		1
	7	弾き歌いレッスン⑥「季節の歌」		「スケール」「季節の歌」を練習する		1
	8	弾き歌いレッスン⑦「園生活の歌」		「スケール」「園生活の歌」を練習する		1
	9	弾き歌いレッスン⑧「発表会演奏曲」		「スケール」「発表会演奏曲」を練習する		1
	10	弾き歌い発表会		「スケール」「発表会演奏曲」を練習する		1
	11	弾き歌いレッスン⑨「行事の歌」		「スケール」「行事の歌」を練習する		1
	12	弾き歌いレッスン⑩「世界の歌」		「スケール」「世界の歌」を練習する		1
	13	弾き歌いレッスン⑪「日本の歌」		「スケール」「日本の歌」を練習する		1
	14	弾き歌いレッスン⑫「後期試験曲」		「スケール」「後期試験曲」を練習する		1
	15	弾き歌いレッスン⑬「後期試験曲」／まとめ		「スケール」「後期試験曲」を練習する		1
成績評価方法		知識・理解	思考・判断	興味・意欲・態度	技能・表現	評価割合
	筆記試験					
	レポート					
	課題	○	○	○	○	20%
	実技	○	○	○	○	70%
	受講状況・態度	○	○	○	○	10%
	その他()					
フィードバックの方法	レッスンの中で、その時々課題等を伝えていきます。					
教科書	『あなたも弾ける やさしい童謡唱歌集』(同文書院)・適宜プリント資料配布					
参考書	『おながくのしくみ』(教育芸術社)・『これだけは知ってほしい楽典 はじめの一步』(カワイ出版)					
アクティブ・ラーニング	個人レッスンを積み重ねながら、皆の前で学びを発表したり共有したりします。そして、日々考えながら練習を重ね、発表する機会をもちながら音楽の力を身につけるアクティブラーニングです。					
ICT活用	アーティストや、現場の保育者による映像を視聴することで得られる学びもあります。積極的にICTを活用しましょう。ただし授業時間内では、演奏技能の練習に集中するため、授業時間外の自主学習において利用することとします。					
メッセージ・備考	子どもたちの前で、どのような表情・声色で歌を歌いますか。ピアノの技術だけでなく、自身の表現を見て聴いて感じる子どもたちがいることを忘れず、自身の表現力を更に磨いていきましょう。					
関連科目	音楽1・2・3、子どもの音楽、幼児と表現					